

2024

12.11 (水)

12:10
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン
(Zoom)

登録はこちら▶▶

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_On4k_ASyQQiVi82CbhV27Q

【技術支援】九州大学 Q-AOS

骨格筋の分化・再生の制御因子としての 雌性ホルモンエストロゲン



Key Words

エストロゲン

筋分化

筋再生

サルコペニア

保坂 善真 教授

九州大学 農学研究院 資源生物科学部門

【出身地】秋田県秋田市です。

【略歴】北海道大学獣医学部を卒業しています。獣医師の資格を有しています。大学卒業後に公務員として勤務したのち、2001年4月に北海道の酪農学園大学獣医学部に助手として着任しました。大学教員として勤務しながら2005年に博士(獣医学)を北海道大学で取得し、翌年から1年間シンガポールの国立分子細胞生物学研究所に留学しました。その後、2008年に鳥取大学農学部獣医学科に異動し、2022年10月から九州大学に在籍しています。この間一貫して、動物の運動器(骨や筋肉)の形作りにおける糖鎖やホルモンの役割について研究を重ねてきました。

【研究・教育活動】動物の解剖学や組織学などの「かたち」を主な研究・教育の対象としています。これまでに、全国の獣医学生が使用する教科書「獣医組織学」や「獣医発生学」の執筆、「カラーアトラス獣医解剖学」の翻訳を手がけてきました。最近では、産業動物獣医師向けの雑誌「臨床獣医」の連載記事の監修も担当しています。

獣医学から畜産学に研究フィールドを移しましたので、家畜の健康に加え、生産性の向上を目指す研究を進めたいと考え、現在これに関する研究を進めています。

雌性ホルモンであるエストロゲンは、生殖機能の維持や骨代謝にとって重要であることはよく知られていますが、近年、とりわけ雌において骨格筋の分化・再生のプロセスで重要な役割を担っていることが分かってきました。本セミナーでは、これまでに私たちが明らかにしてきた、骨格筋組織の発達や再生過程でのエストロゲンの具体的な機能や役割について、ご紹介させていただきます。

得られた知見は、サルコペニアの予防への貢献が期待されることはもちろん、将来的には加齢に伴う筋力低下、閉経後の女性における筋量減少、そして運動不足による筋萎縮などへの治療応用も視野に入れることができるかもしれません。